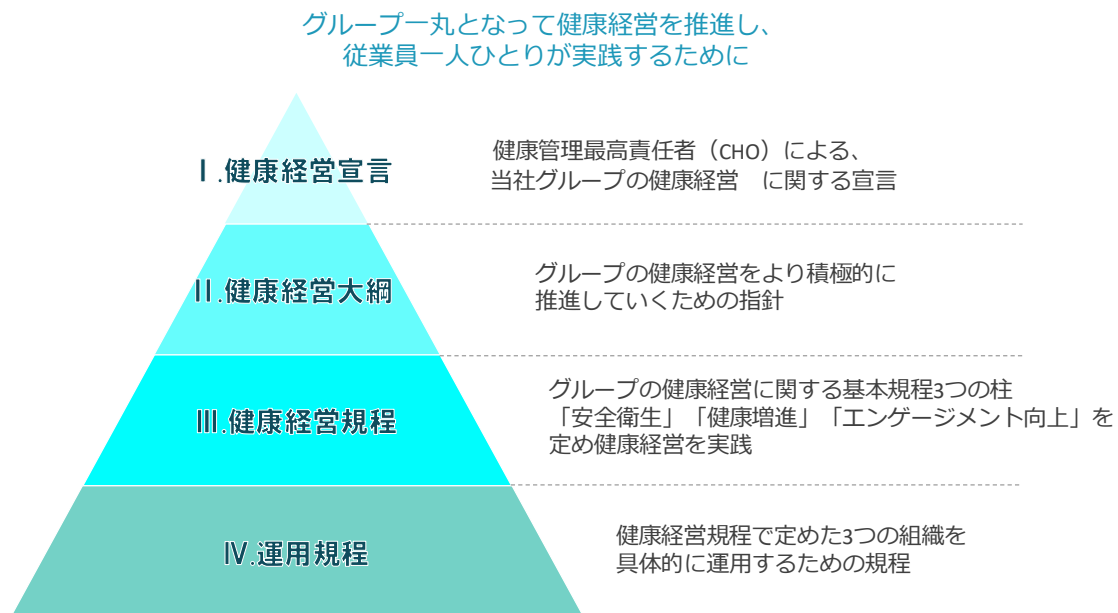


健康経営の取り組み



当社グループ健康経営宣言

当社グループは、従業員とその家族の健康が当社グループ及び社会にとって、大事な財産であると捉え、従業員とその家族の健康増進活動を積極的に支援してまいります。

当社グループではさらに先を目指すために従業員の「ウェルビーイング」を追求し、企業理念「お客様の暮らしのために。地域とともに、地球とともに、成長・発展し続けます。」の達成を目指します。

健康管理最高責任者（CHO）
株式会社TOKAIホールディングス代表取締役社長 小栗 勝男

当社グループ健康経営大綱

グループの健康経営をより積極的に推進していくため「健康増進」、「安全衛生」、「エンゲージメント向上」の3つの柱からなる『当社グループ健康経営大綱』を制定しています。健康経営の普及のため、地域・社会への働きかけにも注力しており、健康的な社会の実現を目指しております。

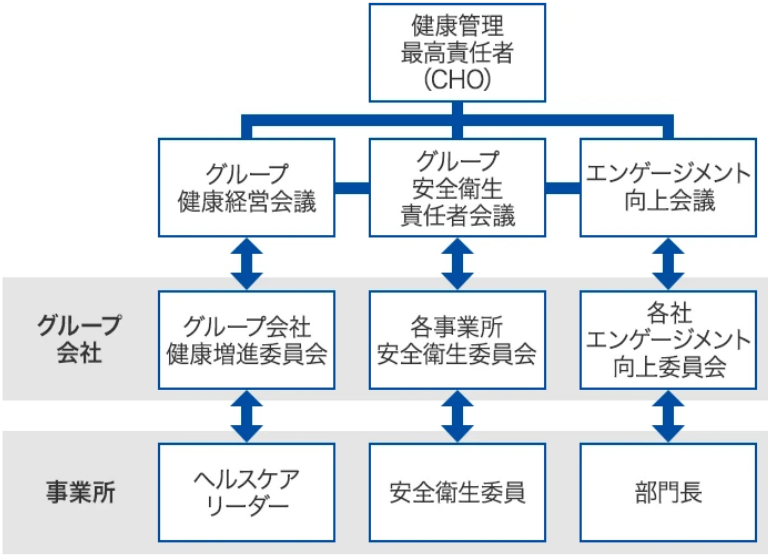
1. TOKAI-WAYを実践できる心身共に健康な従業員を育成します。
2. 「健康経営」を企画・運営するため、「グループ健康経営」、「グループ安全衛生」、「エンゲージメント向上」を推進する委員会を各々組織します。
3. 従業員の健康増進を積極的に支援することにより、従業員が健康で活き活きと輝いて仕事ができる職場環境を目指します。
4. 「安全と健康は経営の基盤である」という認識のもと、安全衛生関係法令及び社内基準を遵守し、安心・安全で快適な職場づくりを推進します。
5. 従業員の働きやすさを支援し、仕事上の責任を果たすとともに家庭や地域生活などにおいて調和がとれたワークライフバランスを実現します。
6. 従業員は健康活動を宣言し、自らの健康を管理・保持する責任を持ちます。
7. 健康経営の実行に当たっては、適切な経営資源を投入し、効果的な改善を継続的に実施します。
8. 地域・社会における人々の健康保持・増進に取組み、健康的な社会の実現に貢献します。

健康経営の推進体制

経営トップが健康管理最高責任者（CHO）に就任し、トップダウンで健康経営に取り組んでおります。健康経営を推進するため、グループ健康経営会議、グループ安全衛生責任者会議、エンゲージメント向上会議を設置しています。

グループで健康増進を推進するグループ健康経営会議においては、健康保険組合並びに労働組合等との情報共有や協議を行い、健康経営施策のレビューと今後の施策検討を行っています。グループ健康経営会議は年3回実施し、マネジメントサイクル（PDCA）を回して推進状況、目標達成状況を確認し、見直しを行っています。

また、グループ各社健康増進委員会では、グループ各社の委員会や事業所のヘルスケア・リーダーと連携し、グループ全体に健康経営に関する目標や施策の浸透を図っています。



社会的価値・企業価値

社会的価値

地球環境をはじめとする社会課題の解決に主体的に関わりながら、すべての人々が「安心・安全」「便利・快適」「喜び・生きがい」を実感でき、次世代が夢を持って成長できる社会の実現に貢献する。

企業価値

従業員の健康が当社グループ及び社会にとって、大事な財産であると捉え、従業員の健康増進活動を積極的に支援することにより、お客様の暮らしのために。地域とともに、地球とともに、成長・発展し続けます。

健康課題・重点テーマと目標・実績

健康課題・重点テーマ	指 標	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度目標
健康リテラシーの向上	健康リテラシーの高い従業員割合 ※1	68.1%	75.7%	77.7%	81.0%
脳血管・心疾患の発症抑制	健康診断受診率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	要受診者の受診率	99.8%	100.0%	100.0%	100.0%
生活習慣病の予防	喫煙率	14.5%	12.4%	9.6%	0.0%
	ウォーキングイベントの参加人数	242人	272人	346人	400人

※1 従業員対象のアンケートで、運動、食事、睡眠、嗜好（喫煙・飲酒）、ストレス、健康診断の12項目に関して必要な知識をもった上で行動できているかを問い、健康リテラシーの高い従業員（8項目以上/12項目）を測定しています。

健康経営に関する取り組み結果

	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度目標
ストレスチェック実施率	100%	99.2%	97.3%	100.0%
高ストレス者割合	11.8%	10.8%	8.0%	—
アブセンティーズム ※2	76.5%	76.4%	76.3%	77.0%

※2 従業員対象のアンケートで「身体の不調がない時の実力を100とすると、仕事における現在の実力はどれくらいか」を測定しています。

健康経営の具体的な取り組み

1. 健康リテラシー向上へのアプローチ

健康リテラシー向上を目的とするため、運動・食事・睡眠をテーマにしたオンライン研修やイベントを実施しています。

ウォーキングイベントの実施（2025年度 346名参加）
運動・食事・睡眠のオンライン研修の実施

2. 生活習慣病対策へのアプローチ

生活習慣病予防のため、定期健診後の要受診者への対応強化や喫煙対策に取り組んでいます。

<定期健康診断後の要受診者への対応>

- ・ヘルスケアリーダー及び上司による受診勧奨の徹底
- ・再検査の受診費用補助
- ・健康診断結果の見方と生活習慣改善セミナーの実施

<喫煙対策>

- ・禁煙治療の費用補助（オンライン禁煙プログラム・通院型禁煙プログラム）
- ・ニコチンガムの配布
- ・インセンティブの付与

3. メンタルヘルスへのアプローチ

メンタル不調の未然防止に向けたメンタルヘルス対策を推進するため、ストレスチェックの組織診断結果をもとにした職場改善研修を実施しています。また、管理者向けと従業員向けの研修を計画的に実施し、外部EAP（Employee Assistance Program: 従業員支援プログラム）機関の活用を行なっています。

- ・カウンセリングの実施
- ・セルフケア動画教育の実施
- ・ラインケア動画教育の実施
- ・ストレスチェック組織分析

健康経営の取り組みによる効果

健康経営の取り組みにより、健康リテラシーの高い従業員の割合は年々増加し、2025年度には77.7%に到達しました。喫煙率も積極的な施策推進により、2023年度に比べ4.9%減少しています。当社グループの分析では、健康リテラシーの高い従業員は低い従業員に比べ仕事の実力発揮度が相対的に高い傾向にあります。上記の結果から、健康リテラシーの向上や改善が図られ、企業の生産性の向上に繋がっていると考えています。

労働安全衛生について

安全衛生を推進するため、衛生委員会を設置し、総括安全衛生管理者、衛生管理者、衛生委員、産業医等と毎月1回定期的に衛生委員会を実施し、安全衛生に関する情報の共有、施策の推進状況の確認、今後の施策検討等を行っています。

	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度目標
業務労災	0件	0件	2件	0件
通勤労災	2件	3件	4件	0件
合計	2件	3件	6件	0件

当社グループ健康経営についてはこちら↓

https://www.tokaiholdings.co.jp/sustainability/human_resource/health_management.html